

□国家公務員

行政府

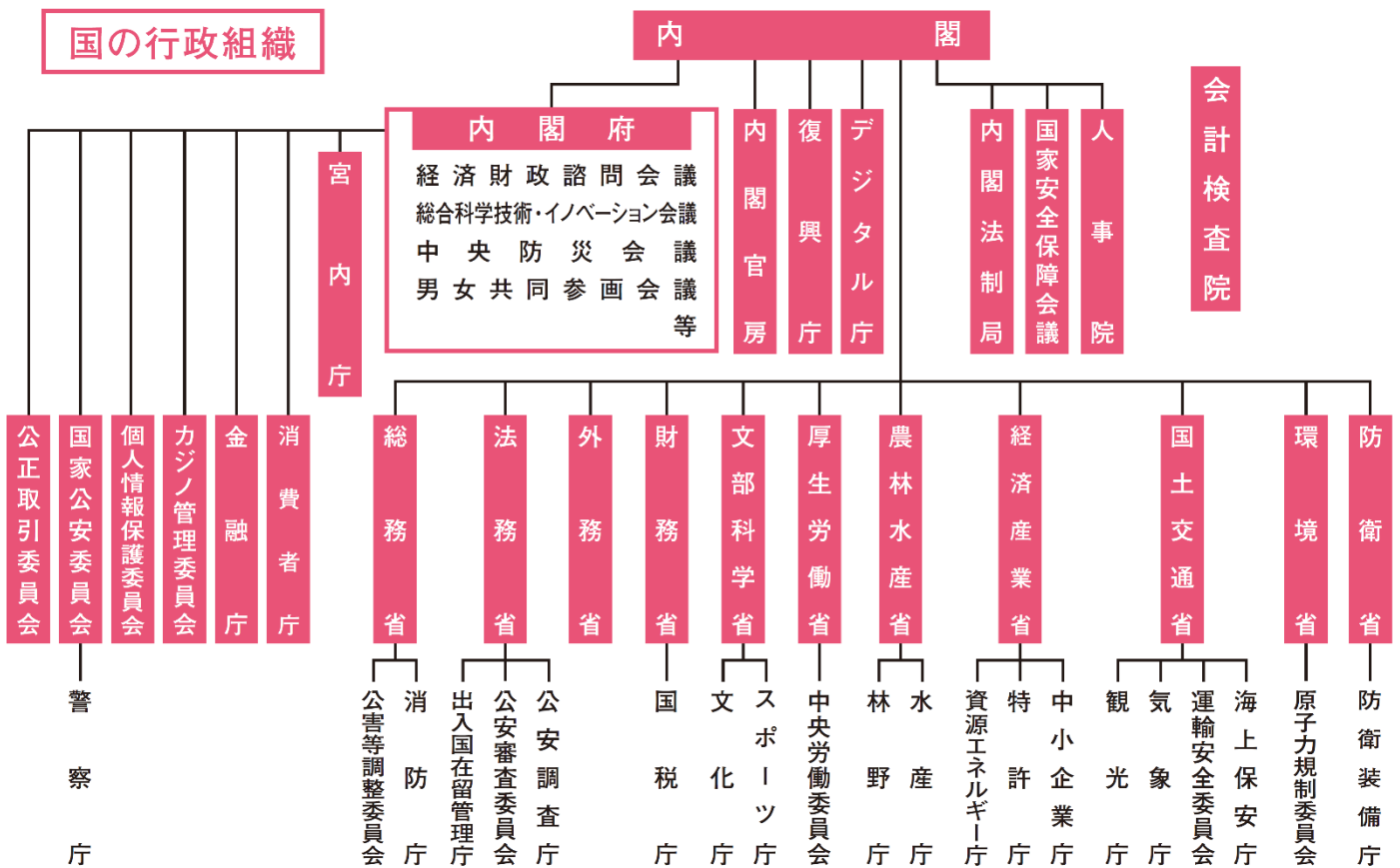
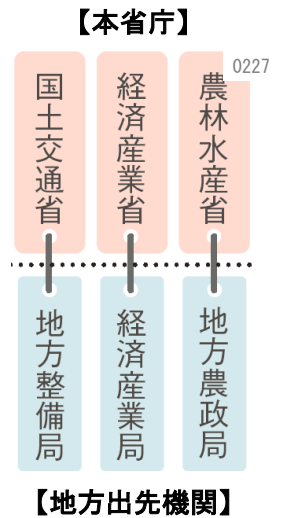
① 1府12省庁職員 ～各府省庁で政策立案・実行を支える～ 対象試験種：国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）

【仕事内容】 **企画立案** 本省庁採用（霞が関勤務） 例：〇〇省
 各府省に採用され、**特定分野の専門的業務**に従事する
 国の中枢である**霞ヶ関**で主に**政策の企画立案**を担う

実行 地方出先機関採用（地方勤務） 例：〇〇省関東□□局
 勤務地域はある程度限定されており、**管区内の本局や事務局**に勤務
 主に**実行役**を担い、機関によっては窓口業務がある

【勤務先】 省庁をまたいだ異動はない = **官庁訪問時の選択が自分の職場を決める**

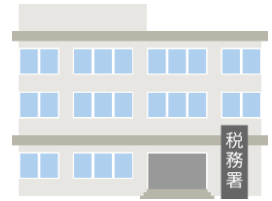
【特徴】 1次試験合格発表後に実施される『**官庁訪問**』を経て**機関ごとに内定**が出る
試験実施主体は人事院だが**採用・内定は省庁ごと**＝“無い内定”がありえる



⑩ 国税専門官 ～日本の税制を支える税務のスペシャリスト～

対象試験種：国税専門官採用試験

- 【仕事内容】 法律・経済・会計に関する知識を駆使して、**申告納税制度を支える専門職**
- 国税調査官**：適正な申告が行われているかの調査・検査・指導 など
 - 国税徴収官**：税金の督促や滞納処分、納税に関する指導 など
 - 国税査察官**：悪質な脱税者に対する強制捜査・捜索・差押え・告発 など



- 【勤務先】 採用後は**税務大学校での研修**を通じて、税金や会計に関する基礎知識を修得
研修終了後に**税務署や国税局**に配属される

- 【特徴】 **研修制度が充実**しており、専門知識や技能を身につけながら仕事ができる
勤続年数に応じ、国家資格である**税理士の科目合格や税理士資格**が得られる

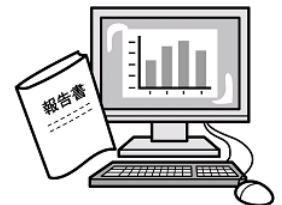
⑪ 財務専門官 ～国と地域をつなぐ、財政・金融のプロフェッショナル～

対象試験種：財務専門官採用試験

- 【仕事内容】 **財務局や財務支局**で活躍する国家公務員の専門職
財務省の総合出先機関として、**財政・国有財産・金融等のに関する施策**を実行

- 【勤務先】 各地の**財務局単位**で採用され、異動は採用局管内で2～3年のサイクル
希望すれば財務省・金融庁の**本省**に出向する機会が得られる場合もある

- 【特徴】 国有財産の活用・予算執行調査・財政融資資金の活用・地域金融の円滑化・
地域経済の調査&報告など、**幅広い業務に携われる**ことが魅力



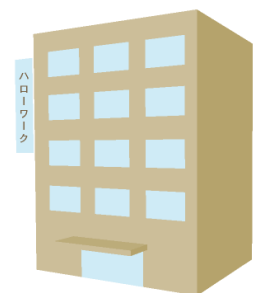
⑫ 労働基準監督官 ～民間企業の労働者を守る労働Gメン～

対象試験種：労働基準監督官採用試験

- 【仕事内容】 労働関係法令に基づき、**労働条件・安全／衛生の確保・改善を促進する専門職**
- 臨検監督**：労働条件や健康管理状況等について調査・指導
 - 災害調査**：労働災害発生状況や原因について調査&再発防止指導
 - 司法処分**：労働関係法令違反に対し、特別司法警察員として捜査・送検

- 【勤務先】 **厚生労働省**の専門職として、**都道府県労働局**や**労働基準監督署**に勤務
※採用後3年目及び原則として、13年目に各2年間、採用された労働局以外
の労働局へ異動しますが、その他の期間は、採用された労働局内の労働基
準監督署（労働局を含む）を2～3年ごとに異動

- 【特徴】 他の職種に比べて**庁外業務**が多い
困っている人を助けたいと考えている方におすすめ



司法府

㊦ 裁判所職員 ～裁判事務のプロフェッショナル～

対象試験種：裁判所職員採用試験

【仕事内容】 裁判所のスムーズな運用を図るための**事務や裁判手続の補助業務**を担当
裁判所の円滑な運用を支える**コートマネージャー**として活躍

【勤務先】 受験した高等裁判所管轄内の裁判所の**裁判部門or司法行政部門**へ配属
まずは**裁判所事務官として裁判部門に配属**されることが多い
裁判部門：法定事務や裁判手続の補助作業を担当
司法行政部門：総務・会計・人事などの一般事務を担当

【特徴】 内部試験により、『**裁判所書記官**』への**ステップアップの道**が開かれている
書記官は**裁判立会・調書作成・公判スケジュール管理**等、より深く裁判に携わる



立法府

㊧ 衆議院事務局／参議院事務局 ～各議会の活動を支えるシンクタンク～

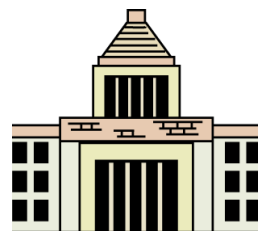
対象試験種：衆議院事務局職員採用試験

：参議院事務局職員採用試験

【仕事内容】 会議運営部門・調査部門・総務部門で、**各議会の運営サポート**を担当
国権の最高機関で**議会制民主主義を陰で支える**重要かつ緊張を要する仕事

【勤務先】 原則として、**国会議事堂or周辺施設**での勤務 = 転勤を伴う異動はない

【特徴】 少数精鋭の職場のため、**例年採用人数が多くない**ことから倍率が上がりがち
衆議院と参議院はそれぞれ別の機関であり、別々に採用試験を実施



㊦ 法人職員

㊦ 国立大学法人等職員 ～非公務員型の法人職員～

対象試験種：国立大学法人等職員採用試験

【仕事内容】 大学組織や研究機関のマネジメント、教育・研究現場を支援する業務を担う
国立大学法人等職員は、**非公務員型の法人職員**という位置付け

【勤務先】 国立大学法人、独立行政法人国立高等専門学校機構、大学共同利用機関法人、
一部の独立行政法人及び放送大学学園 など

国立大学法人	東京大学、東京工業大学、東京学芸大学 等
独立行政法人	国立科学博物館、大学入試センター、東京国立博物館 等

【特徴】 出願時に全国7地区の中から**希望に合わせて地区を選択**して受験できる
第2次試験で、**受験地区内の各機関から志望先を自由に選択**することが可能

